

Q.(標準問題精講 2B 例題 7)

解説の補助をお願いします。

A.

(1) は整式の割り算ですが、割る式が二次以上である場合は、解答にあるように実際に筆算して求めるようにしましょう。一次で割る場合だけ、組み立て除法を用いることができます。

(2) 整式の割り算の問題では商や余りなどわかっていない情報に関して積極的に文字を置く習慣をつけましょう。たとえば、今回であれば商が一次とわかっているものの、具体的にはわかっていないので新たに c という文字を使っておいてみます。

すると F 全体が G でくくれることがわかり、(1) のあまりが 0 になることから a が求まると分かります。

(3) 上で求めた a の値を具体的に代入して、(1) (2) に共通な F を G で割った商について比較することにより、 b c の値が求まります。

今回の問題のポイントは与えられた情報を積極的に文字に起こせるかどうかという点です。整式は解きやすい問題が多いのでここで点が稼げるようにしましょう。